

平成29年度ごみ減量市民会議事業活動計画①(案)

【平成29年度事業活動方針(基本的な考え方)】25%削減目標に向けて

1. 平成28年度は情報収集に重きを置いたが平成29年度は具体的な実践にシフトする
2. アンケート、自治会懇談会等から入手した情報に基づき現実的に可能なものから実践していく
3. フェイスツーフェイスを基本とした啓発活動を実践する

平成29年度の活動計画案 (アンケートに基づいて具体的にどのような活動をするか。)

①分別が難しい(特にプラスチック製容器包装・ミックスペーパー)

- ・現在の「ごみガイドブック」を基本に分別が難しいものの補助チラシ・パンフレット等を作成する。
- ・懇談会の質問で出た中の主なものでチラシを作成する。
- ・次期ガイドブック作成時には、プラスチック製容器包装・ミックスペーパーも含め、ビジュアル的に分かりやすいものにする。

②資源ごみとして出したものは、正しくリサイクルされているのか？

- ・正しくリサイクルされていることが分かるフローを掲載したチラシを作成する。
- ・小学生とその保護者を対象として、リサイクル施設の見学ツアーを実施する。
- ・参加者による資源ごみリサイクル施設の見学を実施する。

③分別やごみ減量の必要性について、何度もPRすべきである。

- ・自治会にこだわらず、家庭教育学級・寿大学・当会議メンバー等の団体との懇談会を実施する。
- ・年間計画を定めて広報誌への掲載、自治会内の回覧を実施する。

④有料化による収入の使い道を知らせてほしい。

- ・決算終了後、直ちに広報等で周知する。

⑤自治会に加入していない単身者向けのアパートなどは、正しくごみが出されていない。

- ・不適正なごみ排出は、市からの指導で対応する。

⑥家具や子ども服のリユースシステムがあればよい。

- 市での取り組みをPRしていく。
- ・市ホームページ 不用品交換コーナー開設
 - ・環境フリーマーケット 年4回
 - ・リレーセンターでのリユース可能な大型ごみの無料収集 月1回(平成29年4月からは週1回)
 - ・リユース市 年1回
 - ・もったいない食器市 月3回
 - ・みっきランドでの不用品交換コーナー開設

⑦生ごみ処理機についてもっとPRしてほしい。

- ・キエーロにターゲットを絞ってPRを実施する。
- ・専門部隊の設置を検討する。
- ・製作講座と合わせ使用方法等の講習会を実施する。
- ・キエーロ購入者へのフォローを実施する。